

平成 24 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	実験と観測で解き明かす中性子星の核物質
領域代表者	田村 裕和（東北大学・理学（系）研究科（研究院）・教授）
研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、原子核内よりも高い密度で、宇宙で最も高い密度を持つ中性子星の物理を解明することを目的としたものである。中性子星の構造の解明という立場からストレンジネスを含む原子核（ハイパー核）、中性子過剰核、観測をバランスよく組み合わせた実験研究と理論研究を統合する領域であり、学術的意義は高く、従来、交流が希薄だった 4 分野（実験核物理・天体観測・冷却原子系・理論研究）の連携をめざす組織形成は評価できる。また、領域代表者はハイパー核に関する多数の共同利用実験の実験責任者などの経験があり、研究領域の的確なマネジメントについても期待できる。加速器核物理学と宇宙物理学にまたがる研究目的は興味深く、また、研究領域内のそれぞれの計画研究が実績のあるグループによるものであり、本提案によって研究が質的に進むものと期待されることから、時宜を得た提案であるといえる。</p>